
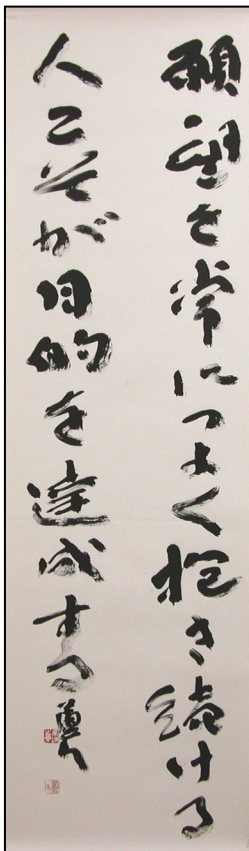


2022年 ふくやま書道美術館催物案内

4月

ふくやまゆかりの書家たちをちょこっと解説

日	曜	常設展示室・展示室
1	金	 <p>4月1日(金)～4月3日(日)は、展示替えの為休館。</p> <p>ふくやま書道美術館 春の所蔵品展</p> <h3>「書のまち ふくやま 一ゆかりの書家たち」</h3> <p>会期：2022年4月5日(火)～6月10日(金) 休館日：月曜休館 但し、5月2日(月)は開館。</p>
2	土	
3	日	
4	月	
5	火	<h3>展覧会内容</h3> <p>福山は「書のまち」といわれるように、書の三分野（漢字・かな・前衛）が、大変盛んなまちであり、中央書壇では福山の書家たちが多く活躍しています。</p> <p>その「書のまち ふくやま」の礎を築いたのが、福山市名誉市民のかな書家、桑田笹舟（1900-1989）です。彼は、地元福山の若い書家や教育者（書道の教師）の育成に力を注ぎました。そして、当時20代の栗原蘆水や桑田三舟、大楽華雪らもその中で書の腕を磨き、作品を発表して中央書壇で活躍するようになります。そして、彼らも笹舟同様に備後地方において書の普及に力を入れるという書道文化循環の流れを生んでいきました。</p> <p>この展覧会では、所蔵の作品から備後福山にゆかりのある作家を紹介し、「書のまち ふくやま」を感じていただきます。</p>
6	水	
7	木	
8	金	
9	土	
10	日	
11	月	
12	火	
13	水	
14	木	
15	金	
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	
20	水	
21	木	
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	
26	火	
27	水	
28	木	
29	金	
30	土	



栗原蘆水 願望

- 桑田笹舟** かな書家・坪生町出身。福山市名誉市民。古筆・料紙研究の第一人者。古筆研究から得た流麗で品のある筆跡と、作品に合わせ自身で作った料紙との響き合いが特徴。
- 浮乗水郷** かな書家・北広島町出身。漢字を学んでいたが桑田笹舟に師事することとなり、かなへ転向。漢字が土台となった水郷の字は、生き生きとしており、「字」に宿る力を感じることができます。
- 宮本竹逕** かな書家・赤坂町出身。「大字かな運動」七人の侍の一人。ゆったりと横広な字形から、有機的で植物のような温もり、優しさを感じることができます。
- 谷邊橘南** かな書家・田尻町出身。「大字かな運動」七人の侍の一人。自身の制作した歌を、自分の字で表現するシンガーソングライター的書家です。100%橘南を味わえます。
- 桑田三舟** かな書家・神戸市出身。桑田笹舟の三男。笹舟譲りの料紙へのこだわりに加え、新しい手法を用いた印象的な料紙、挑戦的な字の配置から、三舟の鋭い感性がうかがえます。
- 中室水穂** かな書家・三之丸町出身。大きく息を吸って吹き出すような力強い字から、漂うような柔らかな字まで、作品世界を書き表す表現力に強さがあります。
- 高尾泉石** 漢字書家・府中市出身。高校教諭時代に当時高校生の栗原蘆水を指導。福山の書団体「芦辺書苑」創設に加わり、生涯地域に根差した書道活動を続け福山の書芸術振興に大きく貢献しました。
- 栗原蘆水** 漢字書家・駅家町出身。福山市名誉市民。白と黒の清潔感、大らかで風格のある書を目指した書家の作品からは、強さ優しさ、懐の深さを感じることができます。栗原蘆水氏のコレクションの寄贈により、ふくやま書道美術館は開館しました。
- 石永甲峰** 漢字書家・世羅町出身。とにかく筆がよく動き、一字一字の姿が美しく、格好いい。そして…目に見えませんが、風・香り・余韻を感じます。

所蔵品展観覧料

一般	150円 (120円)
高校生以下無料	

※()内は有料20名以上の団体料金

次の方は観覧料が無料です

- 社会福祉施設に入所されている方
- 福山市・府中市・神石高原町に住所を有する65歳以上の方
(運転免許証や健康手帳など、住所・年齢が確認できるものが必要)
- 身体障害者手帳・療育手帳・精神障害者保健福祉手帳を持参する方、及びその介護者1名

※開館時間は午前9時30分から午後5時までです。
※月曜日【】の日は休館日です。

FUKUYAMA MUSEUM OF CALLIGRAPHY
美 ふくやま書道美術館

〒720-0067 福山市西町二丁目4番3号
JR福山駅北口から西へ約400m Tel 084-925-9222

Webページ www.city.fukuyama.hiroshima.jp/site/fukuyama-syodo/

電子メール syodo@city.fukuyama.hiroshima.jp